

結城 貴斗さん（材料生産システム専攻、博士前期課程1年）が化学工学会第91年会において優秀学生賞を受賞しました

令和8年3月17日から19日にかけて京都大学吉田キャンパス(京都市)で行われた化学工学会第91年会において、自然科学研究科 材料生産システム専攻 素材生産科学コース 博士前期課程1年の結城貴斗（ゆうき たかと）さんが優秀学生賞を受賞しました。

様々な化学品製造プロセスで用いられる晶析工程において、高純度の結晶製品を生産するには、結晶化の推進力である過飽和度をプラントスケールで制御し、不純物成分の混入を回避しながら目的成分の結晶を選択的に成長させる必要があります。結城さんは、核燃料廃棄物を模擬した硝酸塩系水溶液から硝酸アルミニウム九水和物(硝酸ウラニル六水和物の代替物質)を晶析分離する際に問題となる、回収結晶中への不純物混入メカニズムを解明するとともに、インクルージョンモデル式の修正を行うことで、従前モデル式の精度を高めることに成功しました。結城さんの今後の活躍が期待されます。

発表者：結城 貴斗（新潟大学大学院自然科学研究科・博士前期課程1年）

（指導教員：三上 貴司 准教授）

演題名：硝酸塩晶析における回収結晶中への不純物取り込み挙動の検討

